

News Letter

山口大学 産学公連携・イノベーション推進機構

■ 第34号 ■

2011年3月1日

CONTENTS

- 山口大学とコクヨS&Tの共同開発の研究ノート「リサーチラボノート」 1
- テクニカルショウヨコハマ2011 出展報告 2
- 横浜リエゾンポート2010 出展報告 2
- 産学交流サロン 出展報告 3
- nano tech2011 出展報告 4
- 特別シンポジウム「地域発イノベーション創出に向けて～再生医療 先端ライフサイエンス分野の最近の動向～」開催報告 4
- JST地域産学官共同研究拠点整備事業『やまぐちイノベーション創出推進拠点』の設備・機器について 5
- 3月のセミナーのご案内 6

発行 産学公連携・イノベーション推進機構
連絡先 〒755-8611 宇部市常盤台2丁目16-1
電話 0836-85-9961 F A X 0836-85-9962
e-mail yuic@yamaguchi-u.ac.jp
URL http://www.sangaku.yamaguchi-u.ac.jp/

山口大学とコクヨS&Tの共同開発の研究ノート「リサーチラボノート」に普及タイプ（エントリーモデル）が登場

山口大学とコクヨグループのコクヨS&T株式会社は、発明者の権利を守るための研究ノート「リサーチラボノート」を共同開発し、平成17年4月から全国の大学生協やコクヨ取扱店で販売しています。

このノートは産学公連携・イノベーション推進機構 知的財産部門 佐田洋一郎教授を中心に研究開始し、商品化に至ったもので、大学にとって重要な知的財産保護のために、研究・発明の内容、経緯の記録改ざん防止の工夫が施されています。例えば、「連続ページ番号が打ってある」「特殊な糸で綴じてあるので破ったり付加してもすぐに分かる」「確認者の署名・捺印欄がある」などです。

このたび、従来のスタンダードタイプ、ポータブルタイプ、ハード表紙タイプに加え、普及タイプである、「エントリーモデル」が加わりました。

「エントリーモデル」は、ページの抜き差しが一目でわかるように、改ざん防止用の特殊な模様のパターンをノート側面に印刷して証拠力を保持し、無線綴じ製本で見開き性を確保しました。さらに書籍印刷からノート印刷方式を採用するなどの数々の工夫により、価格をスタンダードタイプの約3分の1にまで下げることができました。同じサイズ・枚数のキャンパスノートとほぼ同価格で、入手しやすくなっております。特に学生、院生の皆さまにお勧めしたいノートです。

知的財産部門は、今後も研究者の権利を守るためのツール開発に努めてまいります。

＜コクヨS&T株式会社「リサーチラボノート」ホームページ＞

<http://www.kokuyo-st.co.jp/stationery/labnote/index.html>



リサーチラボノート(エントリーモデル)



使用イメージ

テクニカルショウヨコハマ2011に出展

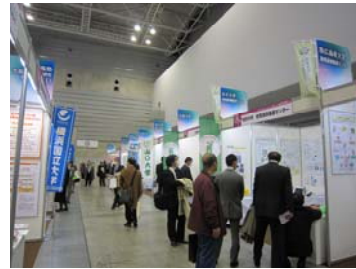
山口大学は、2月2日（水）から4日（金）までの3日間、神奈川県横浜市西区のパシフィコ横浜展示ホールで開催された「第32回工業技術見本市 テクニカルショウヨコハマ2011」に出展しました。「未来につながる新たな技術」をテーマで開催された総合見本市で、10,000㎡の会場には、神奈川県内の中小企業をはじめとする首都圏の383社企業、団体が出展し、約30,000人の来場がありました。

今回は「よこはま産学連携コーナー」に、財団法人やまぐち産業振興財団と共同で出展、山口大学からは、①「アズレニルホウ酸誘導体の効率合成と用途開発」大学院医学系研究科（理学）村藤俊宏教授、②「ダイヤモンドライクカーボンをベースとした導電性薄膜材料」大学院理工学研究科（理学）本多謙介准教授、③「バーチャルリアリティを活用したコンクリート橋梁点検支援システム」大学院理工学研究科（工学）宮本文穂教授、④「非破壊3次元マイクロ力学量断層計測法」大学院医学系研究科（工学）佐伯壯一准教授の4つのシーズをパネル展示するとともに、会場内のワークショップでは、宮本文穂教授と本多謙介准教授がシーズ発表を行いました。財団法人やまぐち産業振興財団からは、山口県内中小企業の新技術や新製品の紹介が行われました。

出展ブースではシーズ説明を行うとともに、質問や要望も受けました。また、引き合いのあったシーズについては後日、面談を行う約束を交わすなど、今後のつながりが期待される成果となりました。



来場者に説明するスタッフ



会場の様子



シーズ発表する宮本教授

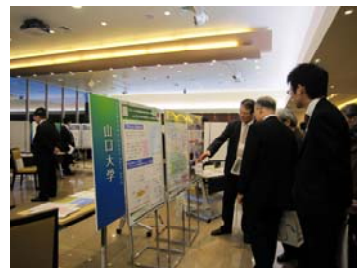


シーズ発表する本多准教授

横浜リエゾンポート2010に参加し研究テーマを紹介

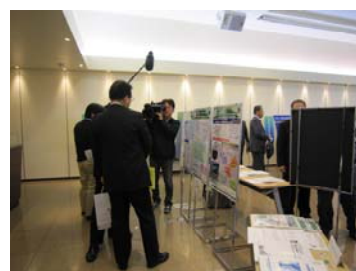
山口大学は、11月18日（木）に慶應義塾大学・協生館（横浜市港北区日吉）で開催された「横浜リエゾンポート2010（主催：横浜企業経営支援財団、横浜市）」に参加し、研究3テーマをパネルで紹介いたしました。横浜企業経営支援財団は、横浜市内の大学との連携はもとより、横浜市内の大学にはないシーズについては、それを有する地方の国立大学との連携を進め、横浜全国産学連携広域ネットワークを構築しております。このたび、連携大学との事業活動としては初めての試みとして、政府の新成長戦略に掲げられた「グリーン・イノベーション」をテーマとした16大学の37研究シーズを一堂に集めたポスターセッションと、2企業、5大学からの技術説明会（ワークショップ）が実施されました。当日、会場には、企業関係者等150名の参加があり、各大学の選りすぐりの研究シーズについての説明を熱心に聴いていただきました。

山口大学は、11月18日（木）に慶應義塾大学・協生館（横浜市港北区日吉）で開催された「横浜リエゾンポート2010（主催：横浜企業経営支援財団、横浜市）」に参加し、研究3テーマをパネルで紹介いたしました。横浜企業経営支援財団は、横浜市内の大学との連携はもとより、横浜市内の大学にはないシーズについては、それを有する地方の国立大学との連携を進め、横浜全国産学連携広域ネットワークを構築しております。このたび、連携大学との事業活動としては初めての試みとして、政府の新成長戦略に掲げられた「グリーン・イノベーション」をテーマとした16大学の37研究シーズを一堂に集めたポスターセッションと、2企業、5大学からの技術説明会（ワークショップ）が実施されました。当日、会場には、企業関係者等150名の参加があり、各大学の選りすぐりの研究シーズについての説明を熱心に聴いていただきました。



来場者に研究シーズを説明

山口大学からは、大学院医学系研究科（理学）村藤教授の「アズレニルホウ酸誘導体の効率合成と用途開発」、大学院理工学研究科（理学）本多准教授の「ダイヤモンドライクカーボンをベースとした新しい導電性薄膜材料」、大学院理工学研究科（工学）



地元テレビ局の取材

平木准教授の「モータ回生エネルギーの高効率回収システム」の3つの研究シーズをパネル展示し、関心を持っていただいた来場者には、コーディネータが研究内容について詳しく説明をいたしました。特に関心を持っていただいた企業参加者とは名刺を交換し、個別に相談を行いました。また、出展シーズに対する質問や要望なども多数受けており、今後のつながりの期待される案件については、積極的にフォローアップしていきたいと考えております。

産学交流サロン「パワーエレクトロニクス&スマートグリッド」で研究テーマを紹介

山口大学は、12月9日（木）に横浜企業経営支援財団「大会議室」（横浜市中区太田町）で開催された第171回産学交流サロン「パワーエレクトロニクス&スマートグリッド（主催：横浜企業経営支援財団、横浜市工業会連合会）」において、大学院理工学研究科 平木英治准教授が「DCマイクログリッド&電気自動車用電力変換システム」のテーマで講演を行いました。



研究シーズを説明する平木准教授

横浜企業経営支援財団では、地球温暖化防止対策に必要なグリーンデバイスの重要な技術である「パワーエレクトロニクス」について、大学の最新の研究・開発シーズ情報や、スマートグリッド、スマートシティに多用されている企業の新製品の情報を共有し、参加企業等の技術レベルの向上を図っていくことを目的に研究会を始めます。

また、横浜市は経済産業省が推進する「次世代エネルギー・社会システム実証地域」に選定されており、本年8月には「横浜スマートシティプロジェクト」マスタープランを取りまとめ、事業が本格的にスタートしておりますが、本研究会もこれらの動きと連動して実施されたものです。

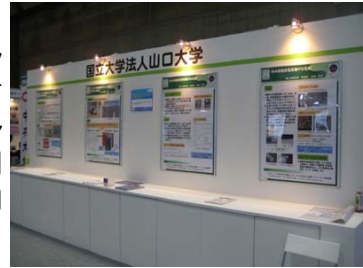


聴講する参加者

当日、会場には、電気機器関連の企業関係者等47社66名の参加があり、研究シーズについての説明を熱心に聴いていただきました。講演の後、特に関心を持った企業参加者とは名刺を交換し、個別相談を行いました。講演に引き続き開催された交流会でも、引っぱり無しに相談を受けるなど、今後の展開が期待されます。

nano tech2011出展

山口大学産学公連携・イノベーション推進機構は2011年2月16日～18日東京国際展示場（東京ビッグサイト）東4～6ホールにおいて開催されたnano tech2011国際ナノテクノロジー総合展・技術会議（主催nano tech 実行委員会）に出展いたしました。本展示会は出展国20ヶ国・地域、638企業・団体754小間（うち海外出展者190企業団体205小間）がナノ材料、超微細加工技術、ナノ評価・計測技術等の分野から、環境・エネルギー、IT・エレクトロニクス、バイオテクノロジーといった様々な分野に応用される製品・技術が出展される展示会です。来場者は三日間を通じて展示会総数42381人と規模の大きなもので、山口大学ブースには300名余りの方に来訪いただきました。



今回は理工学研究科教授中山雅晴、助教友野和哲の「マンガン酸化物ナノシート積層膜の電気化学形成」と理工学研究科准教授岡本浩明の「非水素結合性有機ゲル化剤」を展示し、各展示とも企業の方、研究者の方から理論的な質問から応用的な質問まで多様にありました。また、卒業生等も来訪し終始賑やかな出展となりました。

山口大学主催 特別シンポジウム 「地域発イノベーション創出に向けて～再生医療 先端ライフサイエンス分野の最近の動向～」 開催しました

山口大学主催、特別シンポジウム「地域発イノベーション創出に向けて」副題“再生医療 先端ライフサイエンス分野の最近の動向”は下記の要領で学内外、約80名猶予の多くの参加者を交えて、盛大に行われました。

特に「最新ライフサイエンス分野における知財審査基準」についての講演では、企業研究者及び大学研究者の方々の質疑で日頃の研究開発や開発業務に実戦的に役立つ、熱心な、意見交換が行われました。丸半日に及ぶ、長時間のシンポジウムであったが、出席頂いた、企業関係者、大学関係者の方々にとっては「有意義な交流の場」となり、活況あるシンポジウムになりました。



記

- ①日時：2010年12月17日（金） 15：00～20：05迄
②場所：山口大学小串キャンパス（医学部） 霜仁会館3階 多目的室に於いて

【プログラム】

- 開会挨拶： 副学長／産学公連携・イノベーション推進機構長 三池 秀敏 先生
医学部長／大学院医学系研究科長 佐々木 功典 先生
- 基調講演：「眼科領域における再生医療の現状」
“眼組織の再生治療と最近の動向について”
副学長 西田 輝夫 先生
- 基調講演：「宇部興産の産学連携への取組」
“宇部興産の産学連携への取組とイノベーションへの期待について”
宇部興産（株）研究開発本部企画管理部 柏木 公一 氏
- 基調講演：「最新ライフサイエンス分野における特許審査基準」
特許庁特許審査第3部生命工学 審査官 吉森 晃 氏
（モデレーター）産学公連携・イノベーション推進機構
知的財産部門長 佐田 洋一郎 先生
- 閉会挨拶： 産学公連携・イノベーション推進機構 副機構長 山本 節夫 先生
- 情報交流会

**JST地域産学官共同研究拠点整備事業『やまぐちイノベーション創出推進拠点』
～地域の企業の皆様にご利用いただける最先端の設備・機器を揃えました～**

山口県地域の産学官連携の総合的な取り組みを推進するための拠点『やまぐちイノベーション創出推進拠点』がJSTによって山口大学（常盤キャンパス）と山口県産業技術センターに整備され、本年の4月よりオープンすることとなりました。※

※ <http://www.jst.go.jp/innovekyoten/index.html>

本事業は、地域における産学官連携の総合的な取り組みを加速することにより、地域の特色を活かした産学官共同研究を推進するとともに、地域における関連人材の育成や研究成果の企業への展開を図ることを目指すものです。大学などの研究者との共同研究で利用するのはもちろん、企業独自の研究にも利用していただけるようセキュリティにも配慮しています。利用は原則有料となります。利用料金などの運営に関する詳細については、「拠点運営委員会」により決めていきます。詳細は決まり次第、お知らせしていきます。

表に示す各種の最新設備・機器が設置されます。2機関が従来から保有しているオープン利用機器もご利用いただけます。利用を検討したい、ご興味をお持ちの企業・研究者の方がいらっしゃいましたらお気軽に下記までご連絡くださいますようお願いいたします。

＜本件についてのお問い合わせ先＞
山口大学産学公連携・イノベーション推進機構（担当: 荒瀬・近藤）
電話: 0836-85-9976, FAX: 0836-85-9952
電子メール: yuic@yamaguchi-u.ac.jp

設置場所:山口大学 産学公連携・イノベーション推進機構	
研究設備名	
■サーマル電界放出形走査電子顕微鏡 JEOL JSM-7600F ・凍結乾燥部 ・イオンスハット装置 ・冷却水循環装置 78131CWC ■透過型電子顕微鏡システム JEOL JEM-2100 ・集束イオンビーム加工観察装置 JEOL JEM-9320FIB ■熱分解ガスクロマトグラフ・質量分析システム ①ガスクロマトグラフ質量分析装置 島津 GCMS-QP2010Plus (差動型示差熱天秤)Thermo Plus Evo ②ガスクロマトグラフ質量分析装置 島津 GCMS-QP2010Plus (加熱脱着装置)TD-20 (熱分解装置)PY-2020iD ■CO/CO2有機炭素分析システム ①ガス濃度分析装置 島津 CGT-7000タイプ1A ②ガスクロマトグラフシステム 島津 GC-014AF/SPL ③全有機炭素計 島津 TOC-Vcph ■二次元輝度計 東陽テクニカ ICAM ■ナノ粒子径分布測定装置 島津 SALD-7100 ■ソーラーシミュレータ EKO SS-156XIL ■汎用画像センシングシステム ①ハイビジョン認識システム ②レーザー形状測定器 キーエンス LT-9010M ■クリーンルーム ドラフトチャンパー 2台設置 前室、更衣室、エアシャワー設置 ■共焦点レーザー顕微鏡 ZEISS LSM LSM710 Config.2	■自動細胞解析分取システム ①自動細胞解析分離分取システム BD FACSAria II ②全自動磁気細胞分離装置 autoMACSTMPro Starting Kit ③酵母用マイクロマニピュレーションシステム Singer MSM c System 400 ④高速菌体移設装置 Singer Instruments RoToR HDA ■細胞培養装置 ①蛍光顕微鏡 キーエンス BZ-8100 ②吸収測定装置 HITACHI U-5100 ③発光測定装置 ベルトールジャパン(株)LB960 ④蛍光測定装置 ベルトールジャパン(株)LB970 ⑤細胞培養装置 ・微生物細胞培養装置 NBS NB-250 ・動物細胞培養用高密度細胞培養装置 Bellstaga-3000 ・CO2インキュベーター SANYO MCO19AIC ⑥超低温フリーザー SANYO MDF-1156ATN ⑦超低温フリーザー SANYO MDF-U384 ⑧オートクレーブ TOMY LSX-700 ⑨CO2インキュベーター SANYO MCO-19AIC ⑩CO2インキュベーター SANYO MOC-18M ■超遠心機 ①超遠心機 BECKMAN COULTER Optima L-100XP ②高速冷却超遠心機 BECKMAN COULTER Avanti J-E ■イメージングシステム ①イメージングサイトメーター IN Cell Analyzer 2000システム ②イメージアナライザー TyphoonFL9000BGR ③生細胞遺伝子発現解析システム BioTek社Synergy MX SMATBL

設置場所:山口県産業技術センター	
研究設備名	
■フィルトエミッションソース電子顕微鏡 JAMP-9500F ■X線CT装置 島津 inspeXio SMX-225CT	■基板評価システム ①レーザー干渉平面度測定装置 (株)ニテックFlatMaster200XRA-Wafer ②干渉膜厚計 日本電計(株)TW-10-40000-5L-D2

3月のセミナーのご案内

◆ 大学発ベンチャー起業セミナー ―「負」の道を選ばないために―

日 時：平成23年3月15日（火）
14：00～17：30（受付開始13：30）
会 場：山口大学常盤キャンパス 先端研究棟3階セミナー室
（宇部市常盤台2-16-1）

どなたでもご参加いただけます！
ご興味のある方は奮ってご参加下さい。
（参加費は無料です）

概 要：事業化の成功事例を紹介するセミナーが多く開催されていますが、そこで紹介される「成功に至る」要因を全て揃えることが良いことは分かっているけれど、容易ではない、自分たちには当てはまらない、違う道もあるのでは？・・・という疑問をもったことはありませんか？

今回は、視点を変えて「失敗しない」ために重要なことに注目します。「成功と失敗」、「正と負」、「明と暗」の分岐点に差し掛かった時に、失敗に至る選択肢を知ること、それを選択することを回避する、いわば、成功へのミニマムポイントを探るセミナーです。

自信と勇気をもって次の一歩を踏み出す力を見出すための場にしたいと思います。

講 師：講演Ⅰ：ベンチャー成功の条件
尾崎弘之氏（東京工科大学 教授）
講演Ⅱ：シングル・ナノ粒子量産マイクロ化学プロセス
―アイデアから起業への道程―
中崎義晃氏（株式会社ナノ・キューブ・ジャパン 代表取締役）
講演Ⅲ：小規模企業経営者の”Not To Do”
―あるベンチャー企業A社への支援事例より―
大塚真太郎氏（大塚コンサルティングオフィス 代表）

主 催：山口大学産学公連携・イノベーション推進機構
申込み・お問合せ：山口大学産学公連携・イノベーション推進機構（担当：坪井）
TEL：0836-85-9961 FAX：0836-85-9962
E-mail：yuic@yamaguchi-u.ac.jp

◆ 特別セミナー「限界を突破する～他社を活用する『知的交配』の技術～」

日 時：平成23年3月26日（土）
13：30～16：00（受付開始13：00） ※途中10分間の休憩
会 場：山口大学吉田キャンパス 大学会館2階会議室（山口市吉田1677-1）

どなたでもご参加いただけます！
地域企業の皆様のご参加をお待ち申し上げます。
（参加費は無料です）

概 要：大変革の時代、既存の手法を回すだけのビジネスモデルは限界に近づいている。地方の中小企業でも例外ではない。限界を突破するための技術として、今、注目を集めている、自社と他社（企業、大学、公設試等）のリソースを合わせる「知的交配」の技術を紹介する。

講 師：羽根拓也山口大学客員教授（株式会社アクティブラーニング代表取締役）

主 催：山口大学産学公連携・イノベーション推進機構
申込み・お問合せ：山口大学産学公連携・イノベーション推進機構
イノベーション人材育成支援室
TEL：0836-85-9983 FAX：0836-85-9962
E-mail：career@yamaguchi-u.ac.jp

山口大学 産学公連携・イノベーション推進機構

Innovation Center, Yamaguchi University

連絡先：〒755-8611 宇部市常盤台2丁目16-1

発行：山口大学 産学公連携・イノベーション推進機構 TEL:0836-85-9961 FAX:0836-85-9962

E-mail:yuic@yamaguchi-u.ac.jp ホームページ: <http://www.sangaku.yamaguchi-u.ac.jp/>